

しんろだより

No. 7 令和7年9月16日発行
京都府立南山城支援学校
進路指導部

長い夏休みが終わり、2学期になりました。今年度の夏休みも高等部3年生の生徒は進路先を決めるための校外実習に取り組みました。みなさん、お疲れ様でした。

さて、この夏休みの実習で実際に体験した生徒もいますが、作業内容のひとつに「パン作り」があります。この作業は生活介護・就労継続支援B型・企業と、あらゆる進路先で取り組まれています。



このパンを作る作業ですが、実は学校生活でも似たような学習行っています。

例えば小学部の遊びの指導では感触あそびに取り組むことがあります。スライムや寒天を題材として、感触に慣れたり楽しんだりします。

中学部の美術や生活単元学習の時間には粘土を題材として使用することがあります。丸めたり伸ばしたり型を抜いたりして自分の作品を作っていきます。

そして高等部の作業学習では窯業に取り組みます。さまざまな工程がある中で、手を使ってたく、伸ばす活動は基本になってきます。

このように小学部・中学部・高等部と、教科や題材は違っても、手指を使ってその感覚を感じながら、ひとつのものを作っていくということを、共通して行っています。そしてこれらの12年間で積み上げてきた力が、冒頭に述べた「パン作り」の作業につながっていきます。

日々の学校生活の積み重ねが、卒業後の進路先での活躍につながっていくことをいただけると幸いです。